

校正検査表

作業年月日	年 月 日
作業場所	

学校名	型式	製造番号
		製造年月 年 月

パネル操作	電源スイッチ	☐ ()	受話器部・その他	気導受話器出力、音質、コード	☐ ()
	検査音(連続/断続)選択	☐ ()		ヘッドバンド金具	☐ ()
	検耳(右/左)選択	☐ ()		耳あてゴム	☐ ()
	インタラプタスイッチ、(正/逆)選択	☐ ()		応答スイッチコード、LED	☐ ()
	聴力レベルダイヤル	☐ ()		外観(本体、電源ケーブル)	☐ ()
	周波数切替	☐ ()		外観点検・機器点検の結果、不具合を解消した事項 (不具合の内容が分かるように記載すること)	
パネル表示	電源表示LED	☐ ()			
	パネル操作スイッチLED	☐ ()			
	応答スイッチLED	☐ ()			

発振周波数

周波数 (Hz)	50	1000	2000	4000
調整前測定値 (Hz)				
調整後測定値 (Hz)				
誤差 (%)				

※JIS T 1201-1:2011 許容差 ±2%以内 JIS T 1201-1:2000 許容差 ±3%以内 JIS T 1201:1982 許容差 ±5%以内

気導受話器の出力誤差

1 [受話器番号 :]

周波数 (Hz)	50	1000	2000	4000
調整前聴力レベル誤差(70dB)				
調整後聴力レベル誤差(70dB)				
目盛り間誤差 *				

2 [受話器番号 :]

周波数 (Hz)	50	1000	2000	4000
調整前聴力レベル誤差(70dB)				
調整後聴力レベル誤差(70dB)				
目盛り間誤差 *				

*目盛り間誤差:1000Hz30dB、4000Hz25dBとする。

*JIS T 1201-1:2011 許容誤差 3dB以内 JIS T 1201-1:2000 許容誤差 3dB以内 JIS T 1201:1982 500～2000Hz 4dB未満 4000Hz 5dB未満

備考

作業報告欄

点検者	
点検責任者	

学校確認欄

受取人	
返却日	年 月 日

※この様式により難しい場合は、これに準ずるものとする。

校正検査表(通級指導教室)

		作 業 年 月 日	
		作 業 場 所	
		型式	製造番号
			製造年月 年 月

パ ネ ル 操 作 部	電源スイッチ	☐ ()	受 話 器 ・ 応 答 ス イ ッ チ 部	気導受話器出力、音質、コード	☐ ()	
	検査項目選択	☐ ()		高出力気導受話器出力、音質、コード	☐ ()	
	検査音(連続/断続)選択	☐ ()		マスキング受話器出力、音質、コード	☐ ()	
	検耳(右/左)選択	☐ ()		骨導受話器出力、音質、コード	☐ ()	
	インタラプタスイッチ、(正/逆)選択	☐ ()		ヘッドバンド、金具	☐ ()	
	聴力レベルダイヤル	☐ ()		耳当てゴム	☐ ()	
	受話器切替(CH1/CH2)	☐ ()		応答スイッチコード、LED	☐ ()	
	ノイズ切替	☐ ()			☐ ()	
	周波数切替	☐ ()		そ の 他	外見(本体、電源ケーブル)	☐ ()
	入力微調ボリューム	☐ ()			アース接地	☐ ()
パ ネ ル 操 作 部	電源表示LED	☐ ()	外観点検・機器点検の結果、不具合を解消した事項 (不具合の内容が分かるように記載すること)			
	パネル操作スイッチLED	☐ ()				
	応答スイッチLED	☐ ()				
	レベルメータ	☐ ()				

発振周波数

周 波 数	125	250	500	750	1000	1500	2000	3000	4000	6000	8000
調整前測定値											
調整後測定値											
誤 差											

※JIS T 1201-1:2011 許容誤差 タイプ1及び2: ±1% タイプ3: ±2% JIS T 1201-1:2000 許容誤差 タイプ1: ±1% タイプ2: ±2% タイプ3: ±3%以内 JIS T 1201:1982 診断用Ⅰ形 ±3% 診断用Ⅱ形 ±5% 以内

受話器の出力誤差 受話器番号 右: 左: 骨導:

周 波 数	125	250	500	750	1000	1500	2000	3000	4000	6000	8000
調整前気導右 誤差(dB)											
調整後気導右 誤差(dB)											
調整前気導左 誤差(dB)											
調整後気導左 誤差(dB)											
調整前骨導 誤差(dB)											
調整後骨導 誤差(dB)											

※JIS T 1201-1:2011及びJIS T 1201-1:2000 許容誤差 125Hz～4000Hz: ±3dB 6000Hz～8000Hz: ±5dB JIS T 1201:1982 125～4000Hz ±4dB 4000Hz～8000Hz ±5dB

スピーカ校正値

周 波 数	125	250	500	750	1000	1500	2000	3000	4000	6000	8000
調整前測定値 (dB)											
調整後測定値 (dB)											
補正值(70dBHL時出力)	22.0	11.0	4.0	2.0	2.0	0.5	-1.5	-6.0	-6.5	2.5	11.5

※ISO398-7:許容誤差 125Hz～8000Hz: ±5dB

備考 (修理、交換の必要性等)

作業報告欄		学校確認欄	
点検者		受取人	
点検責任者			

※ 万一 3カ月以内に正常なご使用状態で同一箇所が故障した場合は無料にて修理再調整させていただきます。